

研究課題名：フロー状態を誘発するタスク特性の探索－主観的・客観的指標を用いた比較分析－

研究責任者：猪村 剛史（医系科学研究科リハビリテーション情報科学 准教授）

研究対象者募集

手や指を使った課題やゲームを行なながら、作業中のパフォーマンスや主観的体験などの変化を調べるためにご協力いただける健常成人の方を募集しています。

【参加募集要件】

- 20～25歳の右利きの方
- 本研究の参加に文書による同意をいただける方
- 神経疾患の既往がない方
- 腕の外傷などによる痛みや可動域制限のない方

その他、状態によってはお断りさせていただくことがあります。

●測定場所：広島大学（霞キャンパス 保健学科棟 1006室）

●実施概要：

本研究では、3種類の異なる課題（ペグ課題、タイピング課題、eFootballゲーム）を通じて、フロー状態や課題への没入感について調べます。参加者の方には各課題を数セット体験していただき、その都度、フロービークスや動機づけ、努力感に関する簡単な質問に回答してもらいます。あわせて、課題ごとの成績（例：ペグの移動本数、タイピングの成功数、ゲームの得点など）も記録します。これらのデータをもとに、どのような課題で集中しやすいかや、主観的な体感と客観的な成果との関係を検討することを目的としています。研究は広島大学霞キャンパスで行い、全体の所要時間は1時間程度を予定しています。

●募集期間：研究実施許可後～2026年12月31日

●応募方法：下記お問い合わせ先に記載のメールアドレスまでご連絡ください

●謝礼：Quoカード 1,000円分

☆詳しい研究の内容は事前にご説明いたします。

実際に参加するかどうかは任意であり参加の可否を説明後にお決めいただけます。たとえ研究に参加されない場合であっても不利益が生じることはありません。

お問合せ先：猪村 剛史（広島大学大学院医系科学研究科）

広島大学 霞キャンパス保健学科棟 913号室

メールアドレス：imuratksh@hiroshima-u.ac.jp

電話：082-257-5406

この研究で得られた情報は、個人を特定できる情報（名前、年齢など）は記載せずに解析されます。研究の成果は、学会発表や論文として公表しますが、個人を特定できる形では公表しませんので、個人情報は守られます。